

こまえ



# 公民館 だより

第49号  
2018  
(平成30年)  
10/1

発行 狛江市公民館

## 西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1  
TEL/03-3480-3201  
FAX/03-3480-3203  
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

## 中央公民館

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
TEL/03-3488-4411  
FAX/03-3480-3341  
E-mail chukou@city.komae.lg.jp



↑Web版はこちら

夏休み

## 子ども体験教室を開催しました！



### 子ども紙漉き教室

8月15日 和紙漉き・紙漉きアート  
参加人数：4人 講師：和紙工房こま  
参加者の声

- 色々な色に染めたところが楽しかった。
- ランチョンマットをつくったのが楽しかった。
- 一つ一つ色を染めるところが楽しかった。
- 色を組み合わせるところがおもしろかった。
- ランタンをつくってみたい。



### 子ども木工教室

8月25日 本立て・レターラック等の制作  
参加人数：15人 講師：クラフトハウス狛江  
参加者の声

- ノコギリで切ること、ペイントが楽しかった。
- 小さい刃がついた機械で木をけずるのが楽しかった。
- 最後の達成感がとても良かった。
- 切るのが大変だったけど楽しかった。組み立てて、でき上がっていくのも楽しかった。
- 初めてのことばかりだったけど、特にカナヅチを打つのが楽しかった。
- かんなどで板をけずるのが楽しかった。
- 貯金箱やティッシュケースをつくってみたい。



## 電気と光のしくみを知ろう

## ◇◇地域連携講座◇◇

8月7日・24日 実験「電気と光のしくみ」工作「トントンキツツキ」「釣り糸光ファイバーイルミネーション」

参加人数：50人

講師：一般財団法人 電力中央研究所 吉光 司さん

参加者の声

- 釣り糸ファイバーがとてもきれいだった。
- 工作がおもしろかった。
- 動きと光のある工作づくりが楽しかった。
- ふん水みたいなのがキレイで、キツツキも仕組みが面白かった。
- 電気と光のしくみがよくわかった。
- いろんなことが知れて、工作までできてすごく楽しかった。
- 少し難しかった。
- 電気でおもちゃの電車を動かしてみたい。
- 光るクリスマスツリーをつくってみたい。
- 一見難しそうでしたが、磁石のキツツキも光ファイバーも子ども自身で作れ、楽しめた。勉強になった。(保護者)
- 子どもは電気が好きだからすごく良かった。(保護者)



- 工作が2つもあって楽しめた。講義も楽しく、また機会があれば参加したい。(保護者)
- 低学年の子でもだいたい一人ででき、楽しめた。作品も、記念になるような素敵なもので、今は理解していなくても、記憶に残ると思う。(保護者)



## 小学生将棋教室

7月26日・27日・8月30日

参加人数：27人

講師：高野 秀行さん（日本将棋連盟六段）、他2人

参加者の声

- 将棋のことは細かくは知らなかったが、今回のおかげで、ルールを知ることができた。さらに、将棋の楽しさや、勝ったときの喜びを感じることができた。
- 将棋教室の先生は強かった。
- 将棋で勝つためには、「つめ」をしないと勝てないのを始めて知った。もっとやりたい。
- 楽しくて、相手が良かった。
- また来たい。
- 家でやるよりも、将棋教室でやる時の方が楽しかった。



## おはなし会

毎週木曜日午後3時45分～4時30分

西河原公民館 幼児室

子どもたちが本に親しみ、楽しさを味わえるように毎回テーマを変えて開催しています。

プログラム：絵本、紙芝居、折り紙など

入退出自由なので、気軽にお越しください。

## 初心者のための囲碁教室

9月30日～11月11日の毎週日曜日

(10月21日を除く・全6回)

午前10時～11時30分

定員：先着 10人

申込：中央公民館

小学生から大人まで、初心者のための囲碁教室です。日本棋院粕江支部の会員が懇切丁寧に指導します。

## グループ紹介

### 粕江市民たすけあいネット わっかの会

願いは地域の居場所をつくること

代表：角田 あゆみさん

◆どんな活動をしていますか。

毎週水曜日の午前、西河原公民館やあいとびあセンターで福祉関係の勉強や見学などをしており、公民館などで研究の展示をしています。週一回は、健康体操をしています。

◆お仲間は何人ですか。

60歳代から70歳代の女性5人ですが、体操には20人くらい参加しています。

◆お仲間に入れていただくには、どうしたらいいですか。

代表者にご連絡を。福祉関係の新しいことが学べますし、また体力に合わせた体操も皆で楽しんでいます。ぜひご参加を。

### 美重駒会

おしゃべりも楽しみながら

代表：西牧 チエ子さん

■お仲間は何人ですか。

60歳代から80歳代までの女性10人で、好きな歌手の唄を舞い、日本民謡、新舞踊の稽古をしています。

■稽古はいつしていますか。

月曜日は中央公民館、水曜日は西河原公民館で、午後1時から5時までです。自由に見学に来て下さい。

■発表会などはしていますか。

新舞踊協会、三多摩総合舞踊協会、邦楽連盟、中央公民館のつどい、いべんと西河原などで披露しています。12月2日(日)にはエコルマホールで三多摩大会が開かれ、出演します。

わたしが  
担当  
です

### 中央公民館



たかはし ちえみ  
高橋 智恵美

今年の4月から中央公民館に勤務しています。3月までは、西河原公民館の図書室にいましたので、「どこかでみた顔？」と思われる方もいらっしゃるかと思います。でも、公民館の仕事は新人ですので、わからない事ばかり、日々勉強の毎日です。一日でも早く、お役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。

夏休みに行われた「小学生将棋教室」では、初めて事業を担当しました。今年は、

最終日が2度も台風のため延期になるというアクシデントがありました。3人のプロの先生を中心に、27人の小学生が真剣に駒と向き合っていました。この中から将来の藤井二世が生まれるかも？?ととても楽しみでした。

8月には、チャレンジ青年学級で30年ぶりにキャンプに参加しました。お天気にも恵まれ楽しい2日間でした。

公民館では、他にもいろいろな事業を行っていますので、ちょっとしたのぞいて見てくださいます。新しい自分に出会える何かに出会えるかもしれません。

# 「こまえ市民大学」へようど!

土曜日の午後2時から中央公民館で開催。詳細は「広報こまえ」や市内の掲示板、HPでお知らせします。

## 「静岡県富士山世界遺産センターと忍野八海」バスで行く課外講座報告!

こまえ市民大学春の課外講座は5月17日静岡県富士宮市に昨年12月に開館したばかりの富士山世界遺産センターと、富士山の雪解け水が湧き出る忍野八海を訪ねた。応募者85人中、抽選で当たった方39人が参加して、まずは世界遺産センターへ。映像を見ながら全長193メートルのらせんスロープを登り、富士登山の疑似体験。信仰や芸術、火の山など富士山への畏敬をカタチにした展示を見ながら富士山について学んだ。265インチのスクリーンで楽しむ富士山の景観は素晴らしかった。近くの富士山本宮浅間大社へ参拝したり、ご当地名物の焼きそばをお宮横丁で楽しむ方も。

次は世界遺産の忍野八海へ。富士の名水が湧き出る八つの池があり、平日にもかかわらざるの賑わい。そのほとんどは中国、台湾、韓国の方で、日本人は泊江の方だけかと錯覚するほど。富士山も姿を現し、霊峰に見とれた。

10月27日 (土)	事業所シリーズ こまえ正吉苑 「共に支え共に生きる」 施設長 毛尾 ゆかりさん
11月10日 (土)	週刊エコノミスト連続講座 「がん治療最前線」 週刊エコノミスト 誌記者 花谷 美枝さん
11月24日 (土)	週刊エコノミスト連続講座 「ここまで来た先端医療」 週刊エコノミスト 誌記者 下桐 実雅子さん
12月8日 (土)	週刊エコノミスト連続講座 「2019年景気はどうなる」

※講座名はすべて予定です。

## 公運審だより

昨年度に公民館長から諮問を受けた「泊江市立公民館における今後の保育室の運用とあり方について」今年度末の答申をめざして審議を続けています。

平成29年度 第6回定例会 3月5日

平成30年度 第1回定例会 4月16日

第2回定例会 5月14日

第3回定例会 7月2日

公民館の保育室の運用の状況を知るために、保育実施中の保育室を見学(2月5日に実施)した上で、平成29年度第6回定例会には保育士2名に参加いただき、公民館における保育の実情と考え方をお聞きしました。公民館事業としての保育(学習グループ保育)は、市民の学びを支える場であること。孤独になりがちな子育て中に仲間と出会い、自身と子どもの関係を見つめ直し、子どもを人格をもった一人の人間としてとらえるようになる。継続したかわりの中で、大人同士、大人と子ども、子ども同士の関係が育まれるようにという理念のもとに運営されていることがわかりました。これは、保育室の設置当初(197

8年頃)から追求されてきたことです。

予算の不足分を、公民館のついでに喫茶店や母親たちの自主的な積み立てなどでまかなっている実情もあります。

このような公民館だからこそ保育室のあり方をふまえて、今後の検討をしていくこととしています。

検討課題として、公民館における学びとの関係をどう位置づけるか。母親だけでなく父親も対象に。保育の環境や対象年齢(現在は0〜3歳)はどうか。図書館利用者も保育室を使えないか。現状の空き時間を利用しての一時保育はどうか。市役所訪問者にも利用を拡大できるか。その場合に、保育料を設定すべきか。運営は現行の直営か、委託か、などなど。

これら多岐にわたる課題について、定例会ごとに各2時間の審議では、議論がなかなかまとまらないため、主な課題について各委員の意見を出し合って一覧表にし、問題点をしぼっていく方法をとって検討を進めていくことにしています。

また、これらの検討にあたっては、近隣他市の保育室運用状況も参考にしながら進めています。